

家人町長

交通安全施設の信号機

美咲野団地は住宅の売れ行きも順調で年内にも500戸を達成しそうな勢い。また、県道矢護川大津線も全線開通が待たれる。

①美咲野総合案内所前の交差点に信号機を設置してほしいとの声がある。町長の考えを聞く。

②清正公道の交差点設置の階段に発生した桜山交差点東側空き地に桜の公園をつくり、参勤交代往時の歴史と景観を顕彰していく考えはないか。



月尾純一郎議員

町政を問う

一般質問
9 議員

美咲野団地内

2 交差点を問う

町長／早急にできるよう

要望していく

については公安委員会で予算を付けている。町の情報、あるいは問題点、課題点について警察と情報交換しながら説明をしている。県道矢護川・大津線は住宅地の中を通り、矢護川、平川から57号線への道路という生活道路及び産業道路として大きな役割を示している。現在、大津町では各地域から信号機設置の要望があっている。美咲野は保育園の移転もあり、通勤、観光等で、交通量が増加すると思われる。安全第一という点から早急にできるよう要望していく。



美咲野団地交差点

桜山交差点一帯は昔から桜のきれいな場所であった。できる範囲内で桜の植栽をやっていききたい。観光マップ等の設置も検討する。

雇用促進住宅の

取扱いを問う

町長／入居者への十分な説明をしていく

雇用促進住宅の撤退廃止がなされると聞く。

①大津町に2棟ある雇用促進住宅を町で買い取り、町営住宅とする考えはないか。

②現在雇用促進住宅に住む人たちが優先的に町営住宅に入れる考えはないか。

いか。

大津町の雇用促進住宅は80戸に64世帯の方が住んでおられる。この住宅は平成20年度末までに町からの譲渡希望の申し出がない場合には民間への

一般競争入札を行い、民間への売却が不調の場合には廃止する旨の通知が届いている。他の住宅を改修する際の移転先として買っておくのも得策かと考えている。現在住ん



雇用促進住宅

緑の少年団の

取り組みを問う

町長／夢を与えるのは大人の責任

家人町長

子ども達にいろんな形で環境あるいはそういう夢を与えるのは我々大人の役割であると思う。大津町には陽の原キャンプ場をはじめ、環境の森・21世紀の森など自然環境に恵まれている。田んぼの学校や植樹等の森林ボランティア、そういうところから裾野を広げていきたい。

その他の質問

学校等建築基準を

問う

でおられる64世帯の方々にどう取扱うか、町営住宅との所得基準の問題、あるいは管理の問題など今後の課題は大きい。町の立場と入居者の状況をしっかりと把握しながら前向きに検討するための説明もしていきたい。

水張り水田の現状と推進取り組み、又、水路（井手）の整備と地域住民の奉仕作業のあり方はどうなっているのか。今後の水資源確保に対する植樹計画と管理対策はどの様に考えられているのか。

農地・水・環境保全 対策を問う

町長／協議会の中で推進



新聞 則明議員

家入町長

水張り関連は水質保全をしっかりとやりながら考えていき、土地改良の緑ネットの協議会の中で十分推進を図っていきたい。奉仕作業は、それぞれの地域で、農地関係の道路・水路・生活環境・周辺環境整備の事業もやって頂きたい。植樹については、大津・西原・南阿蘇の3町村で検討し企業関連等との契約を進めていく推進を図っている。

西本経済部長

上井手の右岸側（北側）の危険な状態の所は平成20年度から県営新農業水利システム保全整備事業の5ヶ年事業で取り組みが出来ると思う。



上井手川の豊富な水量と護岸対策

消費者行政を 問う

総務部長／
相談に応じる

消費者からの苦情や相談は町ではどの様に对应され、消費者行政に対する予算計上はどのようになっているのか。又、今後、啓発のため講習会や、展示会の計画はあるのか。

首藤総務部長

町では消費者行政関係は総務課で対応している。

ストップ・ザ 振り込め詐欺

「振り込め詐欺」撃退法
～最近の被害特徴及び注意点～

※オレオレ詐欺 ＜特徴＞ - 被害者 → 50から70代女性 → 全体の約8割 - 手口 → 電話を多く、金銭でのトラブル、家族関係を利用 → 全体の約6割 → 午前中に被害者へ電話 → 全体の約7割 ※注意 → 午前中、電話を多く受ける！ → 金銭からの電話番号変更の連絡！	※架空請求詐欺 ＜特徴＞ - 被害者 → 20から40代の男女 → 全体の約7割 - 手口 → 電話や411相談会の請求 → 全体の約1割 → 新居開業関係 → 全て1万円使用 ※注意 → 心当たりがないなら応じない！ → 警察や112相談会の請求！ → ハガキによる詐欺請求！
※融資保証金詐欺 ＜特徴＞ - 被害者 → 30から50代の男女 → 全体の約7割 - 手口 → ガイロ（嘘）による勧誘 → 全体の約7割 ※注意 → ガイロ（嘘）による勧誘！ → 低金利による融資！	※還付金等詐欺 ＜特徴＞ - 被害者 → 65歳以上の高齢者 → 全体の約8割 - 手口 → 社会保険事務所など官公庁を騙る → 全体の約1割 ※注意 → 午前中、官公庁を騙る電話！ → 通話と偽ってATMに誘う！

大津警察署 096-294-0110

健康センターと 散策道の整備を問う

町長／町づくりに
生かしたい

家入町長

健康センターの中で人々を癒すような場所になる様な健康センターであつてもいいと思う。歴史的な文化財も多くマップもつくっている。散策道や健康福祉関連も十分考慮しながら検討を重ね健康センターの役割を今後町づくりに生かしていきたい。

総合的な健康センターの確保が必要に思えるが、どのような構想があるのか。散策道のコース整備と案内板の表示の考えは、又散策道のコースに健康センターを組入れ利便性と機能の向上を計るべきではないか。



J R 大津駅付近の散策道



永田 和彦議員

約13億の財産購入に対する理由が、「町将来の発展性を考え購入の必要がある」では弱すぎる。まず、町に見合う保有財産量の割出や既存財産処

家入町長

中長期的な活用計画として、中心市街地の開発の中で、肥後大津駅周辺の整備にこの広大な土地を活用したいと考えている。知事も阿蘇熊本空港は大津駅を含めて一体と考えておられる。町としても南阿蘇鉄道のトロッ

コ列車の大津までの延伸や、駅の改修などJRや県と相談している。空港関係の整備に伴うプロジェクトを立ち上げ委員会を設けたいとも知事から聞いている。県、JR、関係機関と十分相談しながらに将来構想は具体化していく。

分の検討をし借金の抑制策を提示し、次に町全体の利益である理由を示すべきである。こういう時

こそ町長たる者は自らの政策を主張し町民に対し解りやすく将来を描いて見せなければならない。

日本アルコール産業(株)工場跡地の購入について

町長／大津駅周辺整備と一体に



中心市街地に広がるアルコール工場跡地

岩戸の里温泉について

町長／施設管理は町の義務である

平成9年の最も入館者が多いときで37万人、平成19年度は18万人、本年度はまだ減ると予測をしている。厳しい状況の中で支配人はがんばってい

家入町長

開館以来、赤字体質を抜けきれず約1・7億円の一般財源を今迄につぎ込んでいく。せめて引き締まった経営で無駄を徹底的に無くさなければならぬ時、経費の見直しもできないような支配人

と感じているし、取締役会においても今後の運営を十分検討している。今後も施設管理について町は見えていく義務があると考えている。

を置くとは何事か。指定管理者を公募するならば全体の経営を委ねる訳だから、今後一切税金の補填を止めるとともに経営責任を町長は表明すべきである。

策定作業が進められているが不要に思える。日本国憲法に「主権在民」が示され「国民の義務」も述べられている。憲法を前向き解釈できれば済む事であり、全体の倫理観や道徳を高めるにはやはり国家100年の計と言われる教育の充

家入町長

住民参加や共同情報の共有、町民と行政の役割分担など自治を行っている

実が最重要と考える。憲法の国民一人一人を尊重し精神的指針に収められている部分が多い意味を考えるべきだ。

まちづくり基本条例について
町長／自治の理念確立したい
教育長／側面から支えたい

宮崎教育長

学校教育で達成できない道徳性育成をまちづくり条例で側面から支える。また児童生徒の発達段階に即し教育課程に位置づけ条例を教育が支える。そのような両者が相乗効果を発揮するよう教育委員会でも取り組んでいきたい。

く上での基本的な仕組みやルールを条例という形で明文化することは不可欠と考える。まちづくりという理念を確立するためご理解願いたい。



荒木 俊彦議員

学校環境整備は 教育委員会の責任

教育長／年次計画をたて実施する

学校整備の責任者がはつきりしない。例えば、大津中学校の草捨て場は満杯、給食センターの隣でヤブ蚊も発生。大津中のホームページでも「せんだ等を専門家に依頼できる予算がない」と掲載。学校から教育委員会に

予算要望を言いづらい雰囲気があるのではないかと、学校の環境について、生徒、教師、PTA、地域の方の意見を聞き、教育委員会が情熱的に取り組むべきではないか。生徒やPTAの意見を聞いて「学校のトイレをきれいにし、教育的効果を上げた」事例もある。

宮崎教育長

法律では「校舎その他施設整備・環境衛生」について、最終的な責任は教育委員会にある。

現状は、予算を伴わない児童生徒、教職員の作業、PTAや地域の奉仕作業によるもの。樹木の消毒、高木のせん定等は、学校からの要望により予算計上している。

学校や保護者等にお願いすることと教育委員会が実施するものと区別し、高木せん定等は、年次計画を作成し実施する。



大津中学校正門横

就学援助制度は 町民の立場から改善を

教育長／改善をすすめる

憲法26条に基づき就学援助制度がある。私自身もこの制度を利用して育った。教育委員会の認識には問題がある。

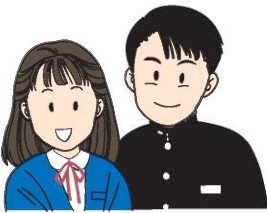
- ①町のホームページで「就学援助制度」は掲載されていない。
- ②要綱を分かりやすくする改正が必要では。
- ③要綱の文章は「生活状

態が悪いとみられる者」となっている。人権教育に反する文言である。

④申請書で「民生児童委員の調査を承諾」欄があるが義務規定か。

宮崎教育長

- ①ホームページは分かりやすいようにしたい。
- ②一般には分かりにくいところもあるが妥当だ。
- ③要綱の「者」という表現は、早速改正する。
- ④助言を求めることができる、ということで義務ではない。



父子家庭にも 公平な援助を

町長／差別のないよう検討する

母子家庭には、不十分ながら児童扶養手当などの制度があるが、父子家庭には、国がやらないの

で扶養手当はない。母子と父子を差別してはいけない、同じく援助をするべきではないか。

家入町長

町の父子家庭は21世帯、父子だけの世帯は1、2世帯である。男女共同参

画の差別のない社会を目指すためにも、生活が厳しい家庭については、援助を検討する。

集中豪雨対策を急げ

町長／状況を把握して推進する

舗装やコンクリートによって都市型災害が増えている。宅地への浸水や通学路、特に室小の通学路、楽善地域の道路冠水など町内全域を把握しているか。対策について計画を立てているか。

家入町長

豪雨被害箇所は、区長さんたちの情報から、住宅地域、高尾野、松古閑など状況を把握して、順次事業を推進する。

ワンルームマンションの ごみ出し

町長／事業系ごみとして検討



坂本 典光議員

ワンルームマンションとは基本的には部屋数が一つだけの短期滞在型家具付きマンションアパートのことである。ウィークリーマンション（月貸し）と呼ばれる。ウィークリーマンションは急な出張や旅行赴任の際に最高7日間から利用可能。料理をした方には全室キッチン付き、もちろん調理器具も標準装備。一般的なホテル宿泊料金は1泊6000円から1万5000円だが、こちらは約3000円から7000円で利用できる。またマンションは月極めだが、2年という契約期間に拘らず、客の必要な期間で解約が可能である。しかも生活に必要な家具、家電付きなので経済的負担が少なく、使い勝手がよいとされている。反面、短期間なので責任感、モラルなどで近隣の住民とのトラブルが多いようである。

①大津町にワンルームマンションがあることを知っているか。
②ごみ出しがデタラメで悪臭がするとの町民の苦情がある。本来ごみ出しは誰の責任で誰が行うのか。



焼却ゴミ（東部清掃工場）

①平成13年10月から平成19年9月まで新築で、大津町には206戸のワンルームマンションがある。しかもこれは一つの業者だけでなく、他の業者についても実態は分からない。②生ゴミの収集は週2日ぐらい行っている。ごみ出しの責任者はまず本人であり、それが守れない場合は大家さん関係等に連絡、指導している。しかしどうしても

指導できない事態が発生したら、家庭用のゴミとしてではなく、事業系ゴミとして取り扱うことが検討されることになる。今商店街においては、各商店から出るゴミは、一般家庭用のゴミとして町の責任で収集するのではなく、各商店がそれぞれの業者に個別に依頼して収集している。これが事業系ゴミの収集方法である。

君たちに伝える言葉の 発行について

教育長／すでに刊行された記録を
図書館に置く

太平洋戦争後、60年以上が経過した。戦前派、戦中派、戦後派が混在するのが今日である。大津町の若者も生きていく目標が定まらない人が多い。今こそ戦後の混乱期を生き抜いてこられた年配者の苦勞の体験談を「君たちに伝えることば」という本にして後世に残すべきではないか。戦争で親を亡くしたこと。子どもを亡くしたこと。シベリアに抑留されたこと。



平成9年に大津町傷痍軍人会の小西さんが戦争の反省と平和の願いと題して27ページの記録を残しておられる。また菊陽町老人クラブ連合会で刊行された「我らを踏み越えて羽ばたけ」に貴重な記録が綴られている。これらの記録を図書館に置きアピールしたい。今から大津町独自で記録を収集するには、無理があると思う。

そういう状況で、子育てが大変だったこと。その時どんな希望を持って生き抜いたのか。ただの教えより実際の体験談は人の心を動かす。

宮崎教育長



大田黒英生議員

原油価格高騰による 農業経営の危機

町長／農業経営を把握し
新たな支援を

原油の高騰はすべての職種の方々に大変な危機をもたらしている。町の基幹産業でもある農家は、肥料代的大幅な値上、肥料においては700円から1000円以上の値上げとなっている。トウモロコシなどがバイオエタノールへの移行の為に畜産関係の餌代又生産資材のビニール等の値上げ、

大変苦しい状況と思われる私は酪農家の方と和牛繁殖農家の方のお話を聞いた。乳価は今年3月にキロ当り3円上がっただけとのこと。和牛仔牛においては1月の市場での平均価格30万1000円が9月市場では24万4000円と大きく値下がりとなっている。一方配合飼料は3月と比較する

とトン当り6700円の値上となり大変苦勞されておられ、もう自助努力では限界ですと両農家とも悲鳴に近い声だ。この様な状況の中、畜産農家の畜舎の固定資産税の減免措置等をして畜産農家の手助けの考えはないか。

家入町長

今9月議会に飼料燃料価格高騰緊急対策資金利子補助金として93万円、又集落営農関係における機械購入補助金として1759万円を提案している。今後農業経営を十分に把握しながら新たな支援策を考えたい。固定資産税の減免措置は考えていないが、JA共々今後については、検討する。



畜産祭り

歴史ある地蔵まつり 消してはならない

町長／町も働きかけ、素晴らしい
地蔵祭りを継続したい

だが、真夏の太陽の降りそそぐ暑い中、多くの町民の方が「又来年もこの時間ですか」「来年もこの時間ならやめたがい

い」と言われる方もいた。今年の祭りに対する町長の考え、来年以降についても考えを聞きたい。



地蔵祭

350年以上の長い歴史のある地蔵祭り、私達は後世に残す責任と義務があると思う。熊本の三大地蔵祭りのひとつと聞いている。今年も町内外の人も楽しみにされておられたと思うが昨年とは一転した姿で祭りが催された。昨年の祭り終了後に発生した町外の若者の暴動の為、今年はその様な暴動をさける為に、大津署よりの強い自粛要請があった為と聞いている。私も祭りに参加した。多くの町民の姿もあつ

家入町長

昨年一部の心なき若者による事件が発生した為に今年こういう姿になった。警察より要請があったのは事実だ。我々も実行委員会にお任せのところがあつたんじゃないかと、反省するところも多々ある。継続する為にそれぞれの人が知恵を出

し協力しながら、今後については関係機関、地域の皆さん、そして町民一人ひとりの人達が地蔵祭りに取り組んでいただける様、大津町としても働きかけ、素晴らしい地蔵祭りを継続していかねければならないと考えている。



鈴木ムツヨ議員

命を守るためにも 住民登録が必要

町長／情報伝達方法は
様々に工夫

住民基本台帳法で、転入・転居・転出を14日以内に市町村で届けなければならぬ。市町村長の責務で、市町村長は、常に住民基本台帳を整備し、住民に関する正確な記録が行われるように努めるとともに、住民に関する記録の管理が適正に行われるように必要な処置を

家入町長 町長は常に正確な記録を整備しておく責務がある。あくまでも本人が届出をされない以上、把握が困難な状況である。区や組に加入されていない皆さんについては、町からの情報が伝わらないこともあるが、伝達方法として様々な工夫をしている。地域担当職員や区長さんを活用し、そういう人たちの把握を十分取りながら今後どうやっていくか



住民課窓口

講ずるよう努めなければならぬとされている。住所を移されていない人達や区や組に加入されていない人達が防犯、防災は、自らの安全は自ら確保する、地域の防火意識をはじめとする共助のシステムに積極的に関わりをもつ。災害初期の対応、自宅からの避難ルート、地域の連絡網など、具体的な手段についても自らが十分に認識

検討していく。 地域は地域でつくるといふ基本に基づいて、安心、安全に努力していく。

する。地域では、危険箇所、地域組織の役割などを防災ハンドブックの作成や共助のシステムである地域防災づくりとその中における各々の役割の明確化が重要。災害が起きたとき、区や組に加入されていないと周りの人々への情報がなく、共助の精神も発揮されない危険がある。対策はあるのか。

食の安全加工対策はあるか

町長／自給自足は
大津町の品物で十分可能

主食である米の問題で 三笠フーズが工業用事故米を食用と偽り、不正に売り渡し、汚染米の行方は24都道府県約380業者に広がっている。また絶対にあってはならないところの病院、保育園、中学校の給食用にも調理され、食べられていた。保護者からは不安と憤りの声が上がっている。食の安全確保に資する自給率向上は改善されな

いままでである。食の安全確保に資する自給率向上は改善されな

宮崎教育長

昨年1年間給食センターで使用した大津産は、米、玉葱、人参、キャベツ、からいもなどの12種類で10%である。今後は、J A大津支所と連携して、地場産の種類、量を増やして貰い使



食事バランスガイド

確保に対する町長の基本的な認識と大津町における食糧自給率向上対策はあるか。2010年までに学校給食への地場産物の使用する割合を30%以上としているが対策はあるか。

家入町長

大津町には米、麦、野菜、あるいは肉などの食生活のすべてが身の回りに生産されており、自給自足というのは大津町にある品物で十分可能。

遊休農地における飼料米の作付けに県が取り組まれているのでその動向を見ているところである。



手嶋 靖隆議員

職場の意識改革について

町長／職員の意識改革や能力開発を推進する

町民への最大の奉仕者として職員の個々の能力を発揮し得る職場全体の意識改革を促すためにも管理職は仕事を命ずるだけでなく、職員の能力、やる気、創造力を掘り起こすよう配慮すべきである。したがって次の4項

目について、①創意工夫による意識改革がなされているのか、②提案制度の活用によって行政に反映されているのか、③行政集団グループの育成、活用は図られているのか、④自立目標並びに理念の設定について、どう図られているのか。町長は組織の活性化を図るため常に配慮されていると思うが、以上の指摘事項について、どう対処されているのか。

①自己申告研修制度を設け職員自ら能力開発に努めている。また人材育

家入町長

成基本方針の策定に向けて情報収集を行っていく。②事務改善委員会を組織し行財政改革の提言制度であり政策提案制度ではなく今後はそのような制度について検討する。③職員の自主的な政策研究が出来るように環境について検討する。④事務事業に関する目標については、人事評価の中で検証する体制整備を進めながら職員の士気や意識の向上を促す。

今後、ますます地方分

権移譲の中、自治体職員の意識改革や人材育成のため研修と目標設定管理を実施していく。



職員研修のようす

小中校生の不登校実態を問う

教育長／教育現場での実態把握に努め、危機感をもって対応していく

本町において不登校生がいると聞くと、主に起因するものは、校内のいじめが多発しているものと思われる。よって、学校現場での現状を、どの程度把握されているのか。現状を踏まえ教育委員会での対応、改善に、どのように対処されたか。また、家庭、教師、委員会との連携を密に教育現場の再生に、どのように取り組まれているのか。

宮崎教育長

7月末までの不登校児童生徒は小学生1人、中学生15人。不登校になるきっかけは、全国とあまり変わりない。体調不良、無気力、不安や緊張、昼夜逆転など本人がかかわる問題が一方で、友人関係、家庭の急激な変化や親子関係を巡る問題に起因することにある。今後、不登校をつくらないよう早期発見に努力する。対応としては欠席の理由を確かめ、家庭訪問をして理由が断定出来ないものは、校内不登校対策委員

会で検討する。教育委員会では、中学校にそれぞれ相談員を配置、小さな悩みをもつ生徒に対応する体制を取っている。また、教育委員会職員が教育支援センターで現在、不登校児童の実態の確認と今後の取り組みを話し合い、不登校対策会議を行い、今回のメンバーにさらに担任や養護教諭を交えて対策協議を計画していく。

その他スクールカウンセラーや関係諸団体と連携協力して取り組む。





藤森昭二朗議員

東部清掃工場で毎日生ゴミが燃やされ大気には良くないCO₂を出す。化石燃料で出来たビニール類を袋ごと強制的に毎日燃やして、年間何億円もかけて灰にして大気を汚し地球の温度上昇になっていないか。

東部清掃工場も新しく造り替える計画がある。再生可能なビニール類、食べ物の残りなど燃料が取り出せる技術も出来ている。資源循環のモデル工場を進める考えはないか。

大気について

町長／資源環境型の清掃工場を作っていきたい



東部清掃工場

家入町長

大量消費や大量廃棄型の社会経済システムは、地球環境に負担を掛けている。次期清掃工場は22年度迄に完成させ23年度始動を考えている。トウモロコシなどで製造された袋を利用して、

生ゴミを堆肥化、ビニールの再生も今後検討する。新たな、清掃工場の建設においては、バイオマスの活用、環境に配慮し環境教育もできるような、資源環境型の清掃工場を作っていきたい。

地下水について

町長／地下水を守り次世代に引き継ぐ

私達が使っている水道の水は、私達が住んでいる大地の真下の地下百数十メートルの熔岩層に蓄

えられた水、地上に降った雨は何十年、百数十年もかかっている水のような。大津菊陽水道企業団の水は80%は地下水で供給されている。地上で生活している私達、地下に気づかずに生活をしながら、汚染水を地下に送ったら元も子もない。地下水を守るためにも、川の清掃、農家町民、商工業の人々の協力を得て美しい水を地下水に送り込むシステムを行わなければと思うものである。

家入町長

大津地域においてきれいな水を確保しながら、そして多くの熊本市民の皆さんたちに与えてやる、そういう役目を我々は責任を持って次世代に送りつがなくてはならない。素晴らしい熊本の水、あるいはそれを求めてやって来る企業、あるいは人々のためにその責任を果たして行く役割があることを十分自覚している。



田んぼの水張り

自転車道の整備を

町長／十分検討する



自転車の通れる歩道

健康のためにも自転車を楽しんで乗ってもらえるような道路をつくっていかなくてはならないのは確かである。

一年間で50台60台以上の自転車のリサイクルがなされており、そういう自転車を活用できればと考える。素晴らしいまちづくりのPRの機会として、十分検討していきたい。

家入町長

現代は地球温暖化によりCO₂を減らすために自転車の利用が見直されはじめています。自転車の通れる空間は車道と歩道に入りこんでいる。車道と側溝に段差があったり、歩道に草が生えたり障害物やデコボコ歩道だったりの場所もある。自転車のハンドルを取られて事故につながるってはいけません。町内の自転車道の点検整備を行い、同時に自転車による健康づくりの効能を町民にアピールしたらどうか。